

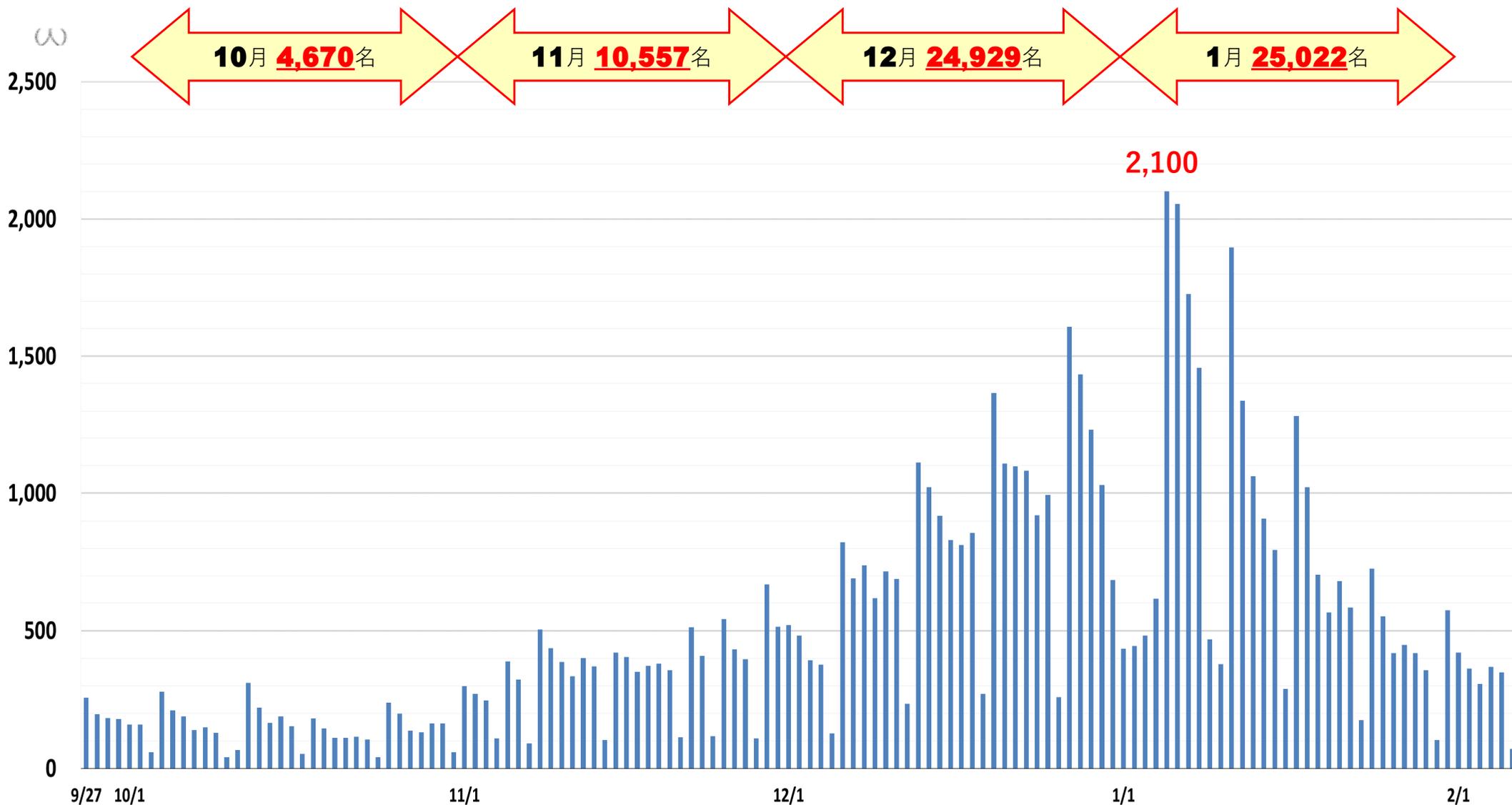
新型コロナウイルス感染症の現状について

発生状況について ①

(1) 「陽性者数」の推移

令和5年2月6日現在

「1日あたりの新規陽性者数」の推移



発生状況について ②

(2) 「陽性者の区分」について

令和5年2月6日現在

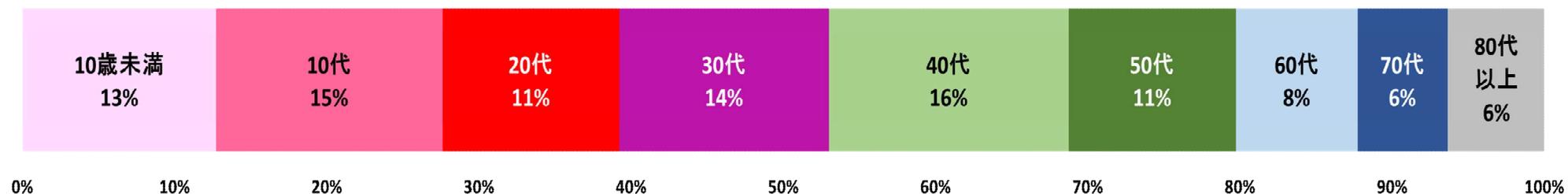
発生届対象者等の割合

R4.9.26～

陽性者数	発生届対象者	発生届対象外	[参考] うちフォローアップセンターで 診断を受けた登録者
67,599人 (100%)	11,701人 (17%)	55,898人 (83%)	7,450人 (11%)

陽性者数の年代別割合

R4.11.1～

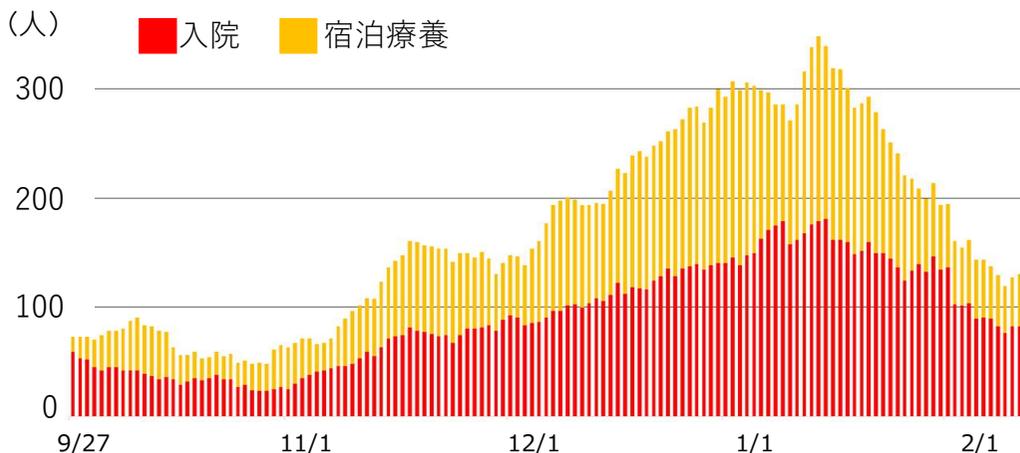


療養者数（入院・宿泊）及び最大確保病床使用率について

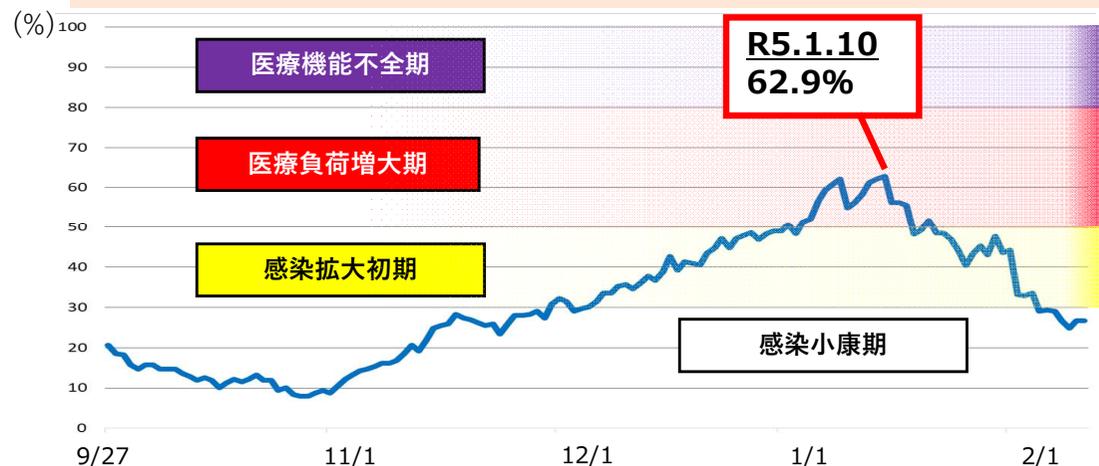
年末年始の感染拡大に伴い、最大確保病床使用率は、1月10日に**62.9%**となったものの、現在は下降傾向にある。

令和5年2月6日現在

「入院・宿泊療養者数」の推移



「最大確保病床使用率」の推移



新型コロナワクチンについて

オミクロン株対応ワクチンの接種状況について

令和5年2月6日現在

- ・ 前回接種から3か月経過した12歳以上の追加接種に使用。
- ・ 接種対象者「575,870人」のうち、「**291,769人**」が接種。
- ・ 全人口に対する接種率は、「**40.2%**」となっている。（全国42.3%）

	全人口	12～29歳	30代・40代	50～64歳	65歳以上
オミクロン株対応 ワクチン接種率	40.2%	18.0%	25.8%	46.1%	66.6%

「コロナ受入病床」及び「宿泊療養施設」の体制について

高齢者等ハイリスク者の感染拡大に対応するため、**新たなコロナ受入病床を確保し**、一部の**宿泊療養施設に介護機能を付加**した。

コロナ受入病床

令和5年1月13日から「4医療機関」で「21床」を増床し、最大確保病床を「307床」に拡充した。

病 院 名	入 院	
		うち重症
確保病床数	307	25
徳島大学病院	18	10
県立中央病院	33	5
県立三好病院	46	3
県立海部病院	27	
徳島市民病院	15	1
徳島県鳴門病院	16	1
吉野川医療センター	12	
徳島赤十字病院	22	3
阿南医療センター	15	1
三好市立三野病院	9	
つるぎ町立半田病院	16	
東徳島医療センター	12	1
川島病院	13	
徳島健生病院	2	
博愛記念病院<増床>	10	
杏和医院	7	
稲次病院<新規>	1	
稲山外科内科<新規>	6	
たまき青空病院<新規>	5	
臨時医療施設	22	

宿泊療養施設

令和5年1月31日から「徳島ワシントンホテルプラザ」の「10室」に「介護機能」を付加した。

宿泊療養施設名	室
確保室数	454
阿波観光ホテル	50
旧徳島県立海部病院	60
徳島ワシントンホテルプラザ	184
(うち介護機能付)	(10)
ビジネスホテルアクセス阿波	40
ビジネスホテルNEXEL鳴門	40
スーパーホテル阿南・市役所前	80

高齢者施設等での「戦略的な検査」の実施について

強化した「戦略的な検査」では、1月31日までに

- ・ **1, 420施設**において、**546, 528回**の検査を実施し、
 - ・ **1, 934人**の陽性者を確認することができ、
- 「施設等への持ち込み防止」や「感染拡大の早期封じ込め」に一定の効果

今後、感染状況や人流増加を踏まえ、「検査キット」を活用した対策を実施し、高齢者をはじめ、重症化リスクの高い方の感染防止を図る。

○「戦略的な検査」 令和4年11月15日～令和5年1月31日

強化内容	対象施設	<ul style="list-style-type: none">① 通所施設(高齢者、障がい者)① 訪問事業所(高齢者、障がい者)○ 高齢者施設、障がい者・児入所施設○ 療養病床を有する病院・有床診療所、精神科病院	対象施設の拡大
	対象者	<ul style="list-style-type: none">○ 施設の全職員【① 委託職員(調理、清掃業務等)】① 新規入所者(高齢者施設、障がい者・児入所施設) (入所前後に3回の検査を実施)	対象者の拡大
	検査回数	<ul style="list-style-type: none">○ 「週3回」の実施(発症間隔が短いオミクロン株対応)	検査回数の拡大

年末年始の「臨時・発熱外来センター」及び「検査キットの臨時配布」について

- 県医師会・県看護協会・県薬剤師会との連携による「検査から診断・処方、調剤・投薬」まで一貫した「臨時・発熱外来センター」を設置
- 有症状者に対し、県内3圏域（県央・県南・県西）における「ドライブスルー型」現地配布と「オンライン申請型」による「検査キットの臨時配布」を実施

臨時・発熱外来センター

- ・ 実施日 令和4年12月25日、
令和4年12月30日～令和5年1月3日
- ・ 実績 受診者数 376人

区分	受診者数	コロナ陽性	(陽性率)	インフル陽性	(陽性率)
12月25日(日)	5人	4人	80%	0人	0%
12月30日(金)	31人	14人	45%	0人	0%
12月31日(土)	78人	43人	55%	0人	0%
1月1日(日)	84人	48人	57%	2人	2%
1月2日(月)	91人	53人	58%	1人	1%
1月3日(火)	87人	49人	56%	2人	2%
合計	376人	211人	56%	5人	1%

※コロナ・インフル同時陽性無し

検査キットの臨時配布

■ドライブスルー型

- ・ 実施日 令和4年12月30日～令和5年1月3日
- ・ 実績 累計 8,059個（1日平均 1,612個）

区分	県央(沖洲)	県南(大潟埠頭)	県西(防災館)	3圏域計
12月30日(金)	462個	261個	261個	984個
12月31日(土)	613個	259個	335個	1,207個
1月1日(日)	809個	308個	149個	1,266個
1月2日(月)	1,017個	443個	344個	1,804個
1月3日(火)	1,336個	624個	838個	2,798個
合計	4,237個	1,895個	1,927個	8,059個

■オンライン申請型

- ・ 実施日 令和4年12月26日～令和5年1月9日
- ・ 実績 累計 3,317個（1日平均 221個）

季節性インフルエンザの流行状況について

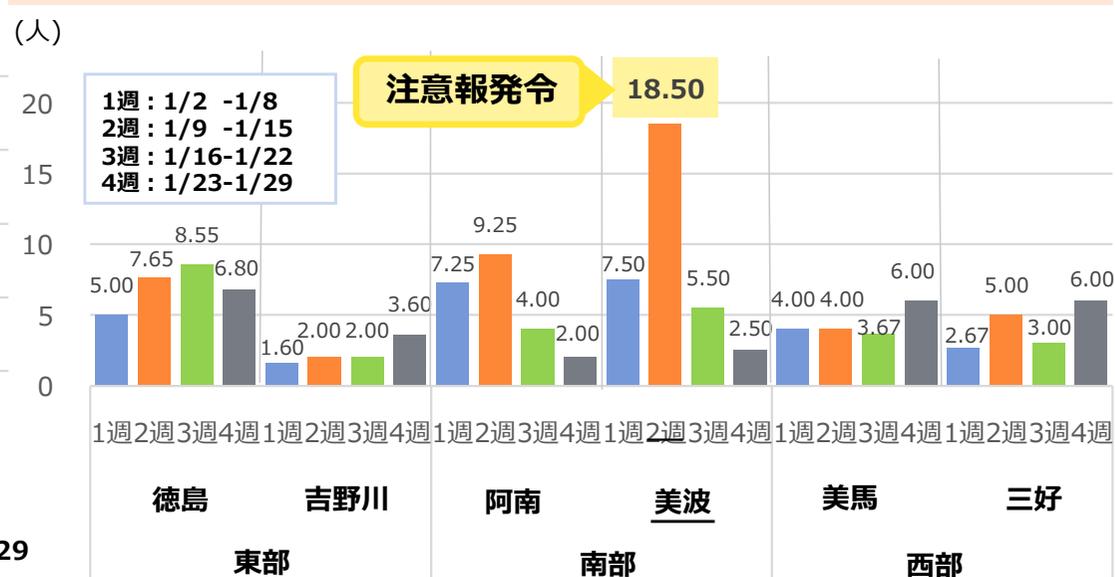
1月2日から8日までの1週間において、定点医療機関あたりの報告数が「**4.65人**」と3シーズンぶりに流行期に入り、その後も流行が継続している。

令和5年2月6日現在

定点医療機関あたりの報告数の推移



保健所別定点医療機関あたりの報告数の推移



※県内37箇所のインフルエンザ定点医療機関からの報告により算出 流行期：1人以上、注意報：10人以上30人未満、警報：30人以上

年齢階級別の患者数について

令和5年2月6日現在

- 1月23日から29日までの1週間に報告された患者数は、「203人」
- 就学児童・生徒の年代にあたる「**5歳から19歳以下**」の患者が「117人」と約半数を占める。

年齢	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~
患者報告数	45	74	30	13	1	16	12	3	3	5	1
割合 (%)	22.2	36.5	14.8	6.4	0.4	7.9	5.9	1.5	1.5	2.5	0.4

新型コロナ・季節性インフルエンザの同時流行対策について

本県においては、「3シーズン」ぶりに季節性インフルエンザ「**流行期**」に入り、感染が継続していることから、新型コロナ同時流行への対策を実施

「抗インフルエンザ薬・タミフル」の無償提供

重症化リスクが高い高齢者等が入所する施設において、インフルエンザの集団感染を防ぐため、入所者や職員の**抗インフルエンザ薬の「予防的服用」**が必要であると医師が判断した場合に、県が「抗インフルエンザ薬・タミフル」を**「無償で提供」**。

⇒1月末までに、延べ12施設・198人分のタミフル（1,940カプセル）を提供。

新型コロナとインフルエンザ「同時検査キット」の配布

「インフルエンザ『警報』」が発令された場合に、発令された地域に所在する「すべての高齢者入所施設」に対し、県から**新型コロナとインフルエンザの「同時検査キット」**をプッシュ型で配布。

症状のある方のコロナ・インフルの鑑別を行い、インフルエンザが確認された場合は、左欄の取組みに直ちにつなげる。

インフルエンザ流行下においても、高齢者等施設内の集団感染を徹底的に防止し、施設入所者等の命をしっかりと守る。